

証券化市場の動向調査

～2010 年度上半期の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ＜<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2010 年度上半期（2010 年 4 月～9 月）の結果を取り纏めたものです。

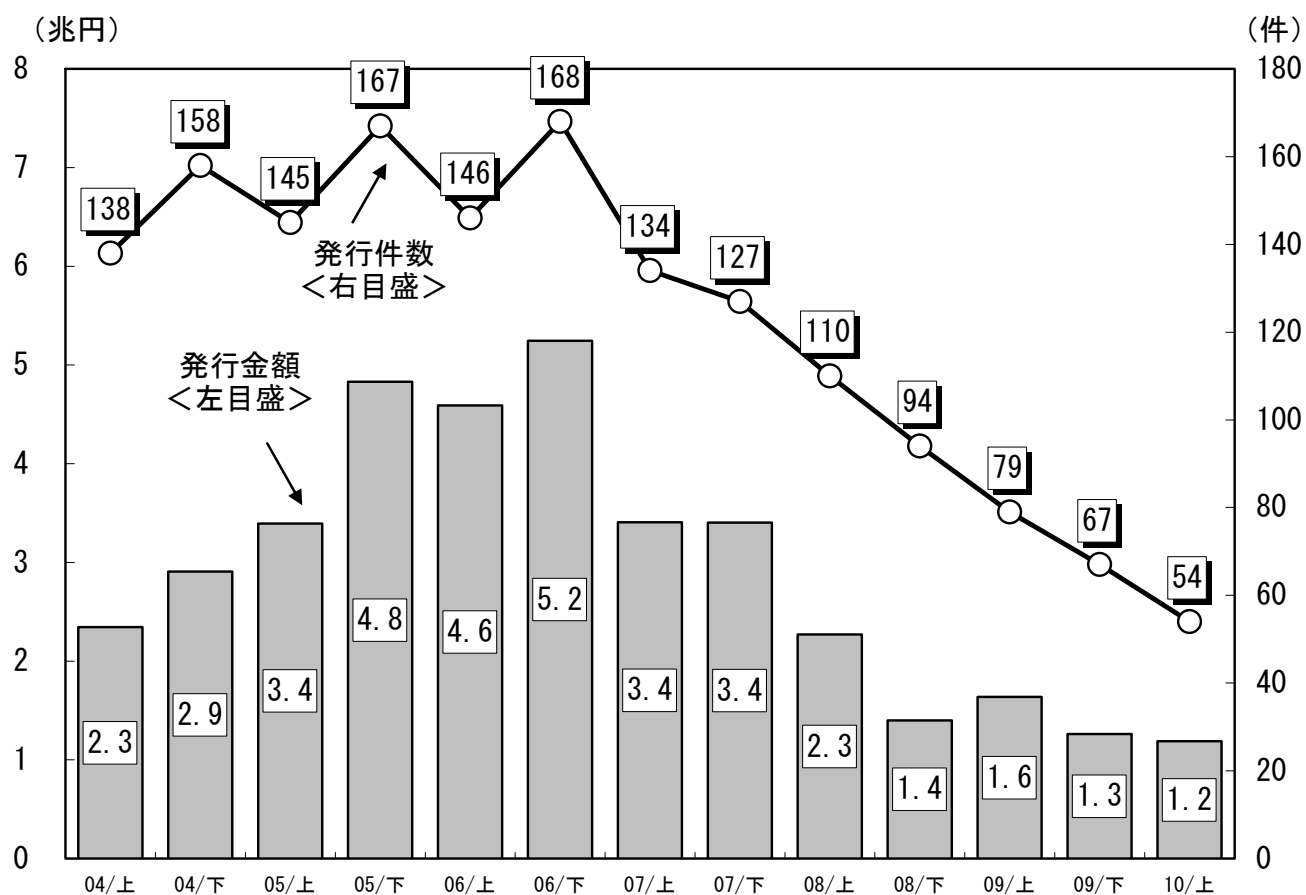
図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

1. 証券化商品全体の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年同期を下回り、調査開始（2004 年度）以来、最小となった（金額 1 兆 1,872 億円＜前年同期比▲27%＞、件数 54 件＜同▲32%＞）（図表 1）。

（参考）2010 年度上半期における普通社債の発行金額は 5 兆 2,591 億円（暫定数値）であった。

（図表 1）証券化商品の発行金額・件数

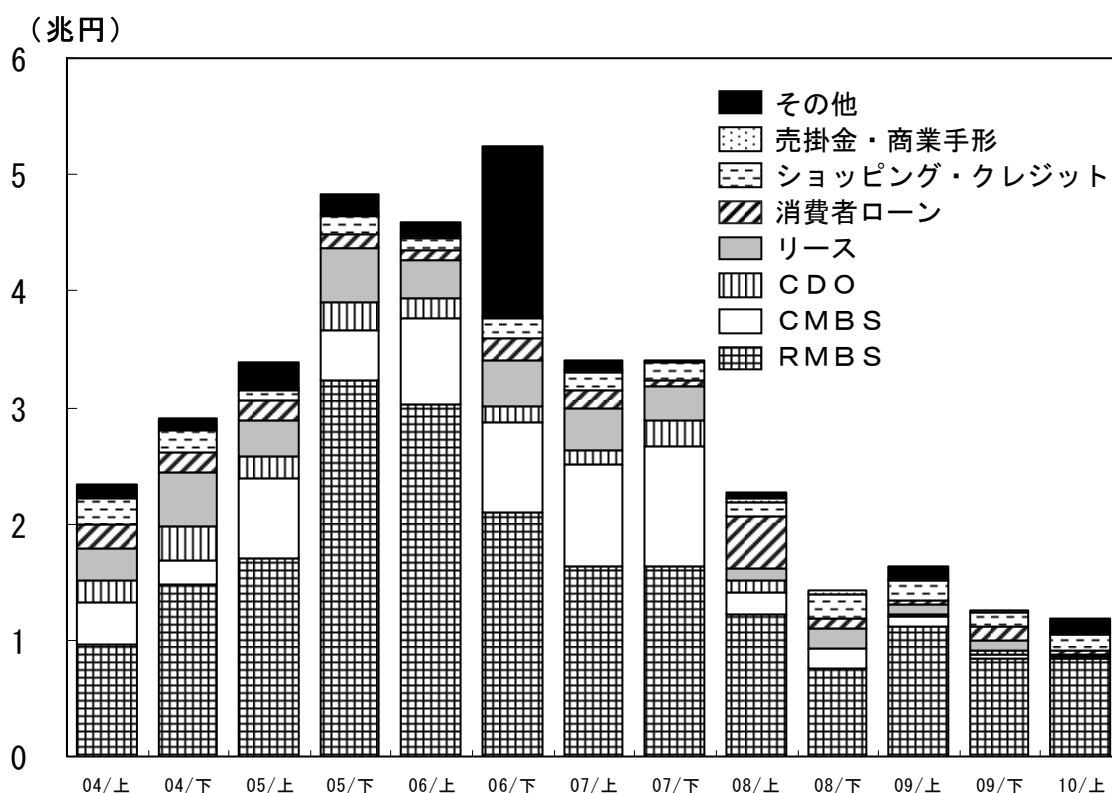


2. 裏付資産別の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行金額(合計 1 兆 1,872 億円<前年同期比▲27%>)を「裏付資産」別にみると、「RMBS」(8,341 億円<同▲25%>)、「CMBS」(138 億円<同▲86%>)、「リース」(232 億円<同▲73%>)、「消費者ローン」(300 億円<同▲3%>)、「ショッピング・クレジット」(1,425 億円<同▲22%>)及び「売掛金・商業手形」(112 億円<同▲33%>)が減少した。一方で、「CDO」(124 億円<同3%>)及び「その他」(1,200 億円<同20%>)は増加した。

以上の結果、発行金額(合計 1 兆 1,872 億円)の「裏付資産」別の構成比は、「RMBS」が70%、「ショッピング・クレジット」が12%、「その他」が10%、「消費者ローン」が3%、「リース」が2%、「CMBS」、「CDO」及び「売掛金・商業手形」が1%となった(図表2)。

(図表2) 証券化商品の「裏付資産」別発行金額



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

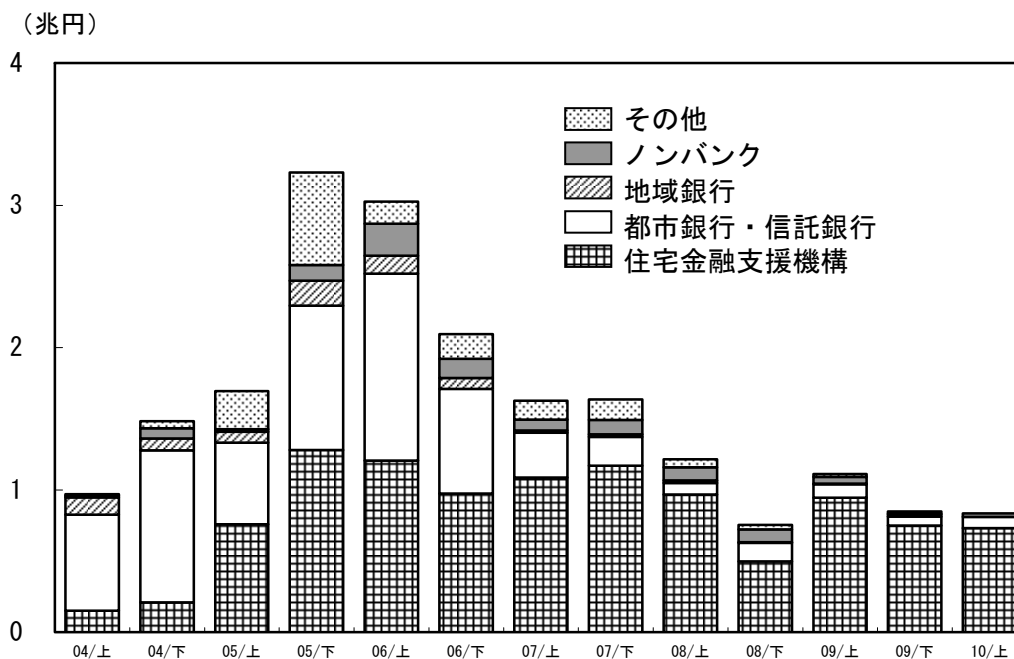
「その他」：事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

2. - (1) RMBSの発行動向

①オリジネーター別

RMBSの発行金額（8,341億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が88%（7,307億円）を占めた（図表3）。

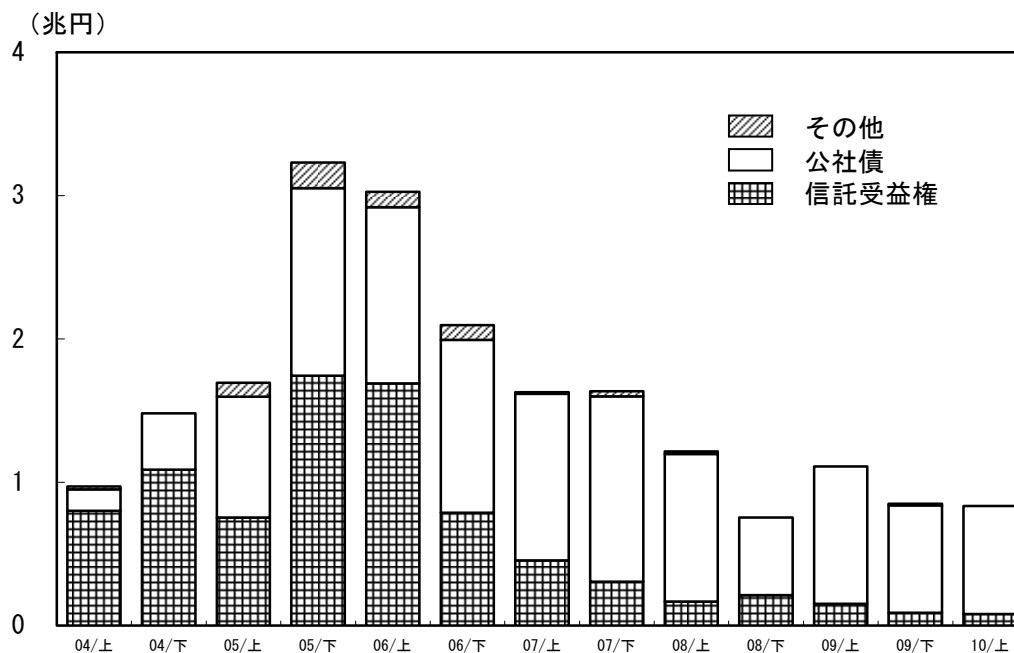
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

RMBSの発行金額（8,341億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が90%（7,537億円）を占めた（図表4）。

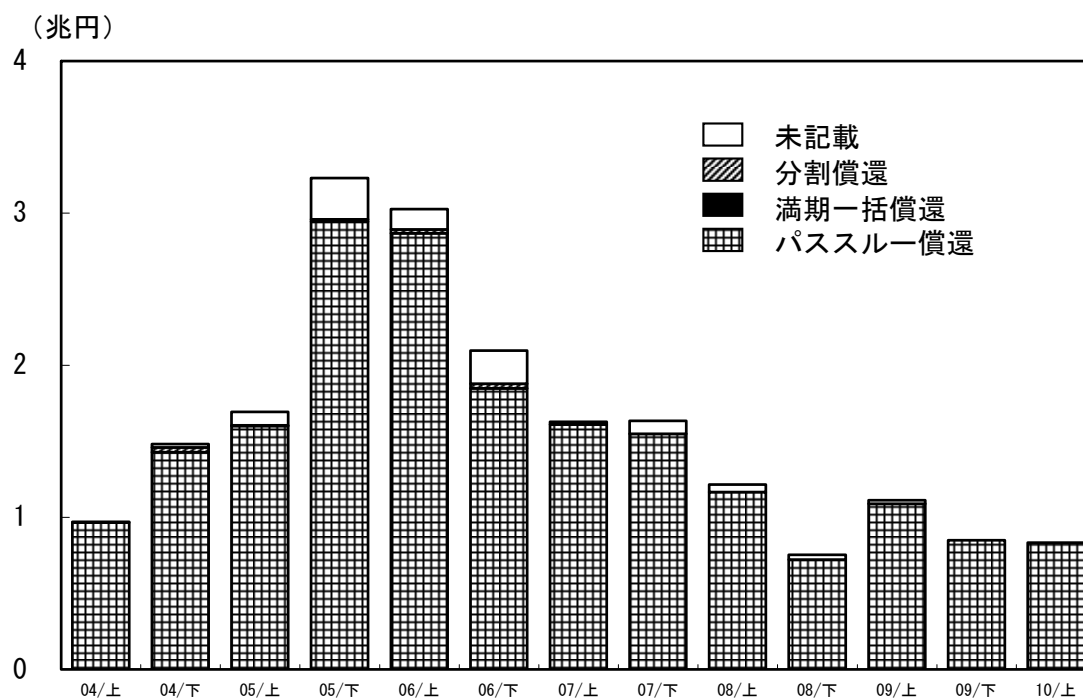
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

RMB Sの発行金額（8,341 億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

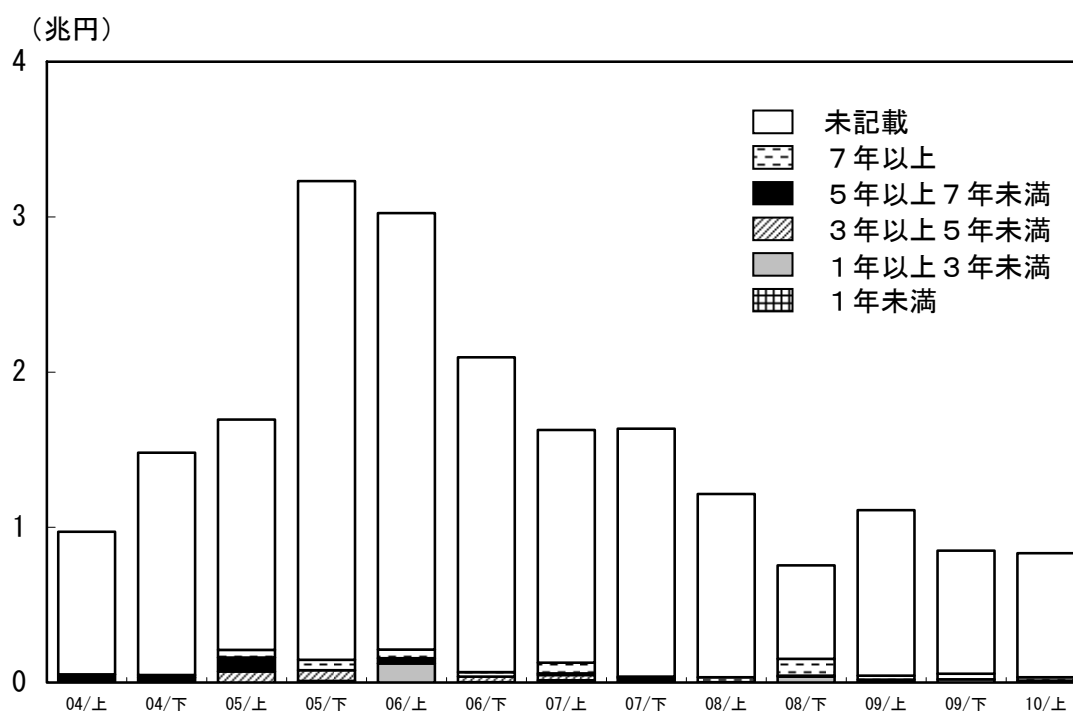
（図表5）RMB Sの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

RMB Sの発行金額（8,341 億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が96%（8,010 億円）を占めたが、記載のある中では、「7年以上」（201 億円）が最も多くなった（図表6）。

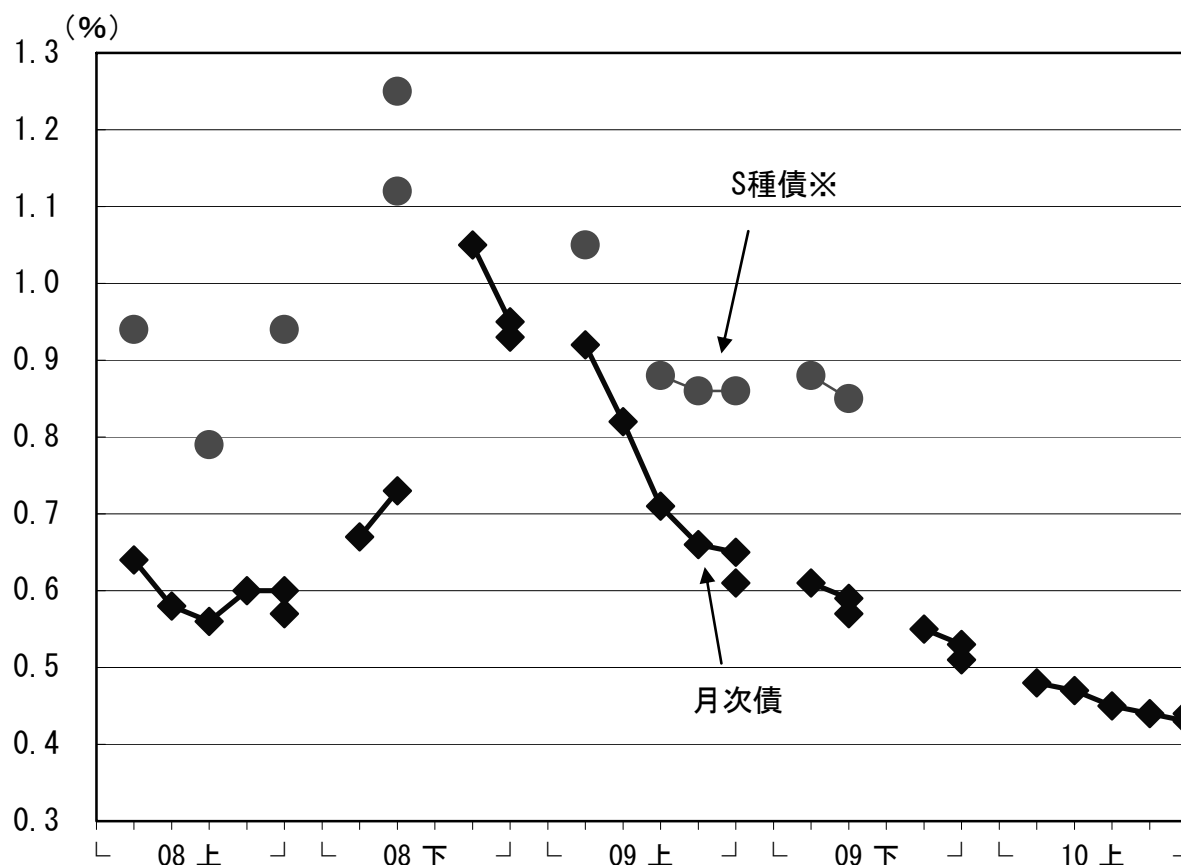
（図表6）RMB Sの「予定／平均年限」別発行金額



⑤発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）をみると、2010年度上半期においては、月次債のスプレッドが縮小した（図表7）。

（図表7）住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド



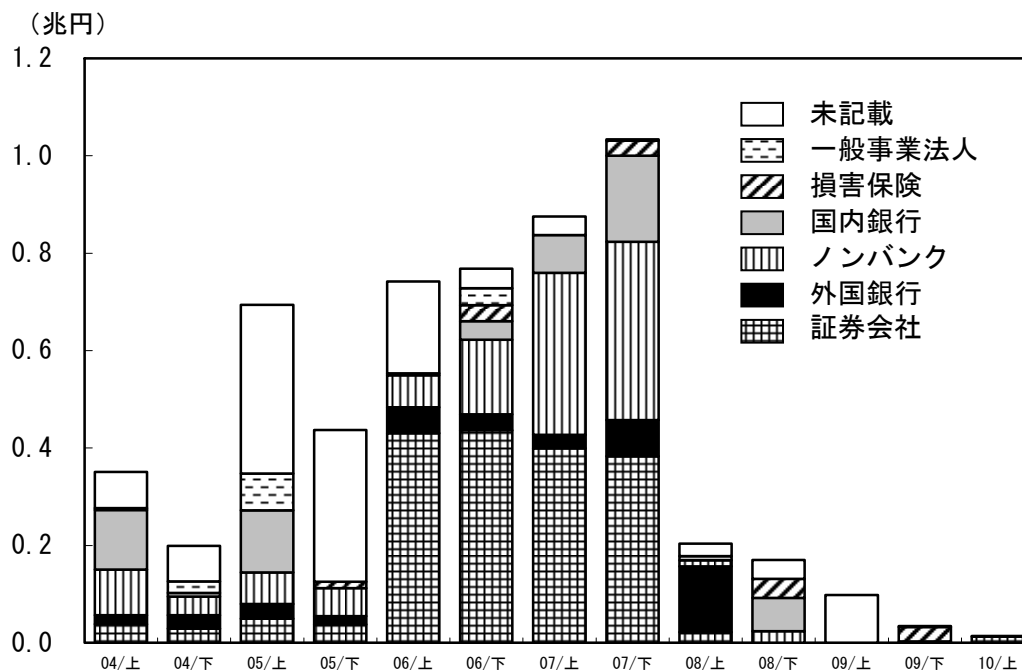
※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

2. - (2) CMBSの発行動向

①オリジネーター別

CMBSの発行金額（138 億円）を「オリジネーター」別にみると、「証券会社」が 89%（123 億円）を占めた（図表 8）。

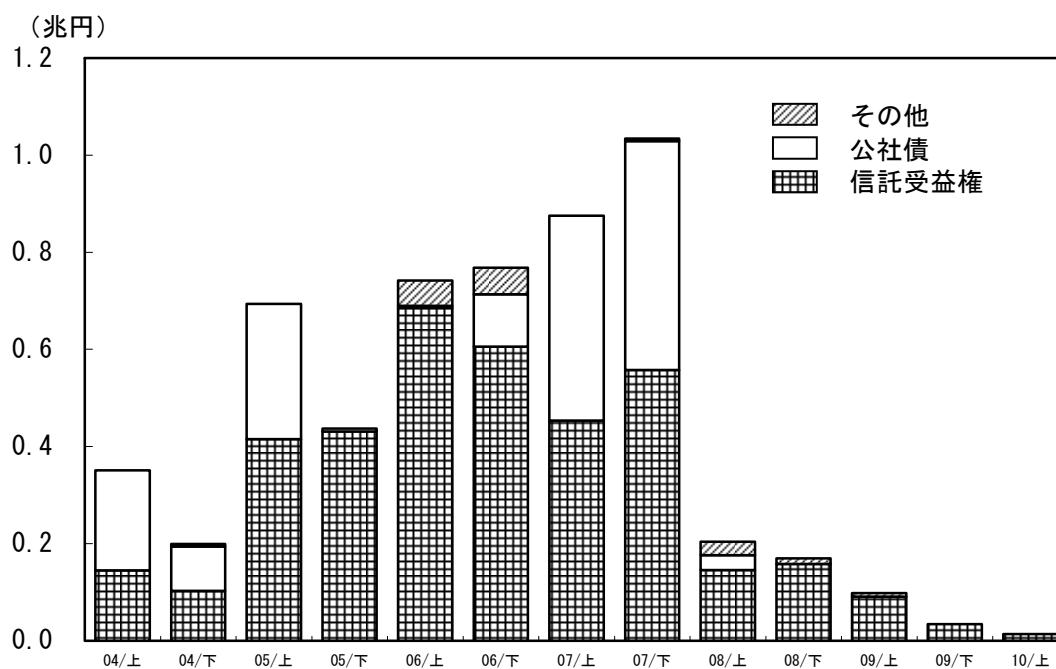
（図表 8）CMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

CMBSの発行金額（138 億円）を「発行形式」別にみると、すべてが「信託受益権」であった（図表 9）。

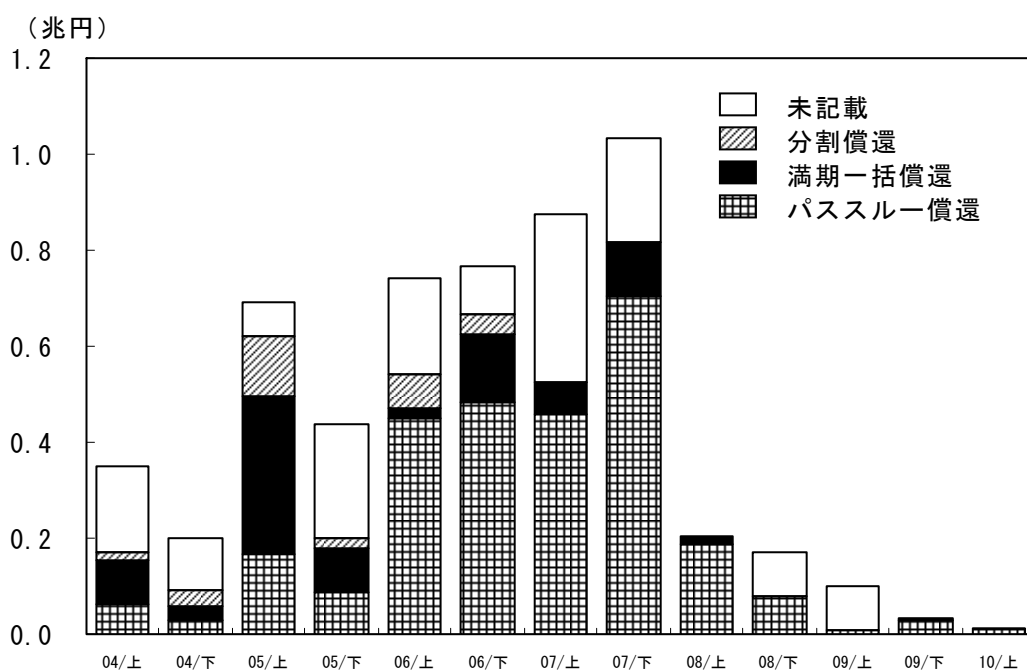
（図表 9）CMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

CMBSの発行金額（138 億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 89%（123 億円）を占めた（図表 10）。

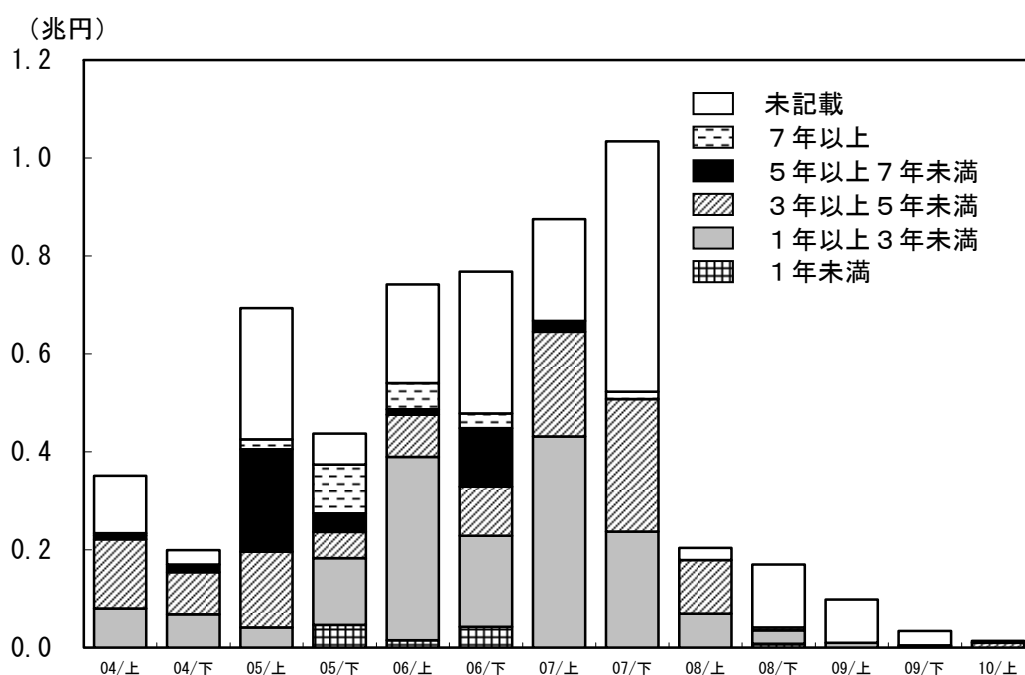
（図表 10）CMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

CMBSの発行金額（138 億円）を「予定／平均年限」別にみると、「3年以上5年未満」が 69%（95 億円）、「5年以上7年未満」が 31%（43 億円）であった（図表 11）。

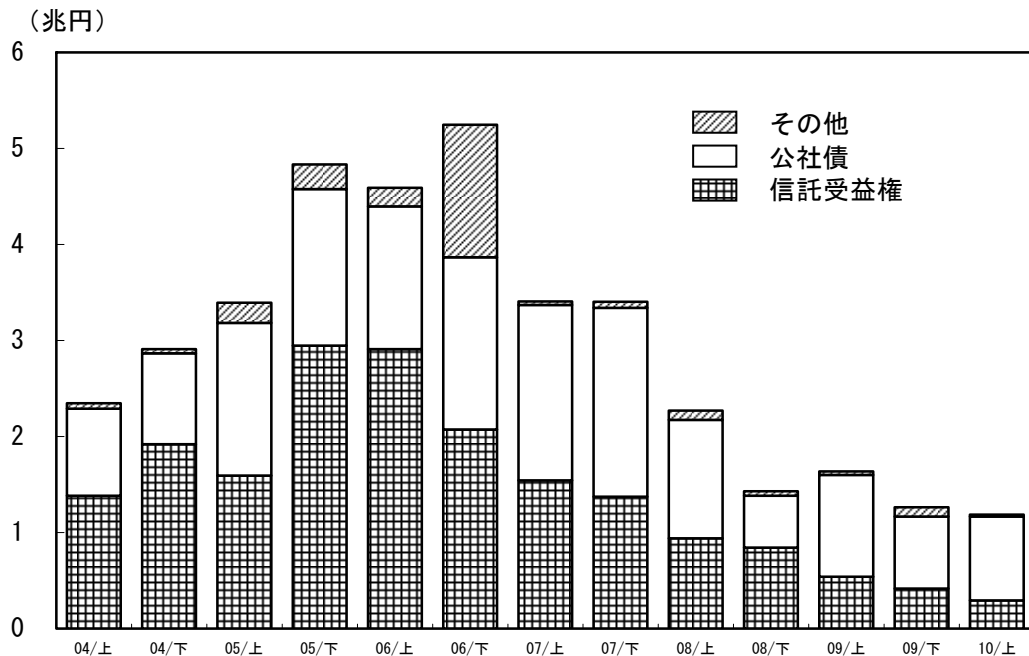
（図表 11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 1,872 億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が 74%（8,737 億円）を占め、次いで「信託受益権」が 25%（2,926 億円）を占めた（図表 1 2）。

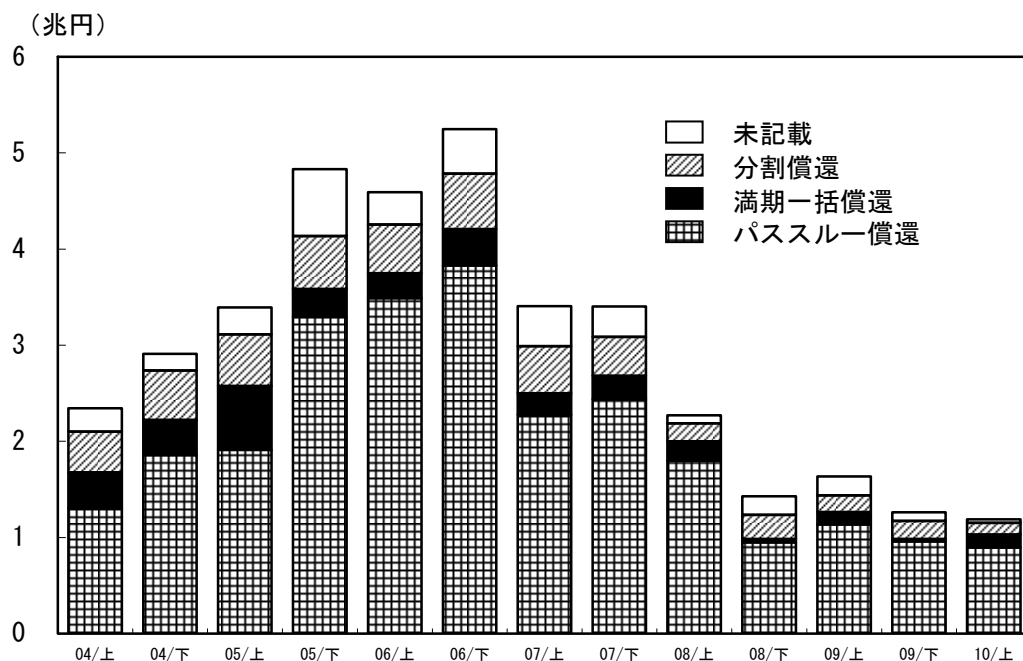
（図表 1 2）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 1,872 億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 76%（8,970 億円）を占めた（図表 1 3）。

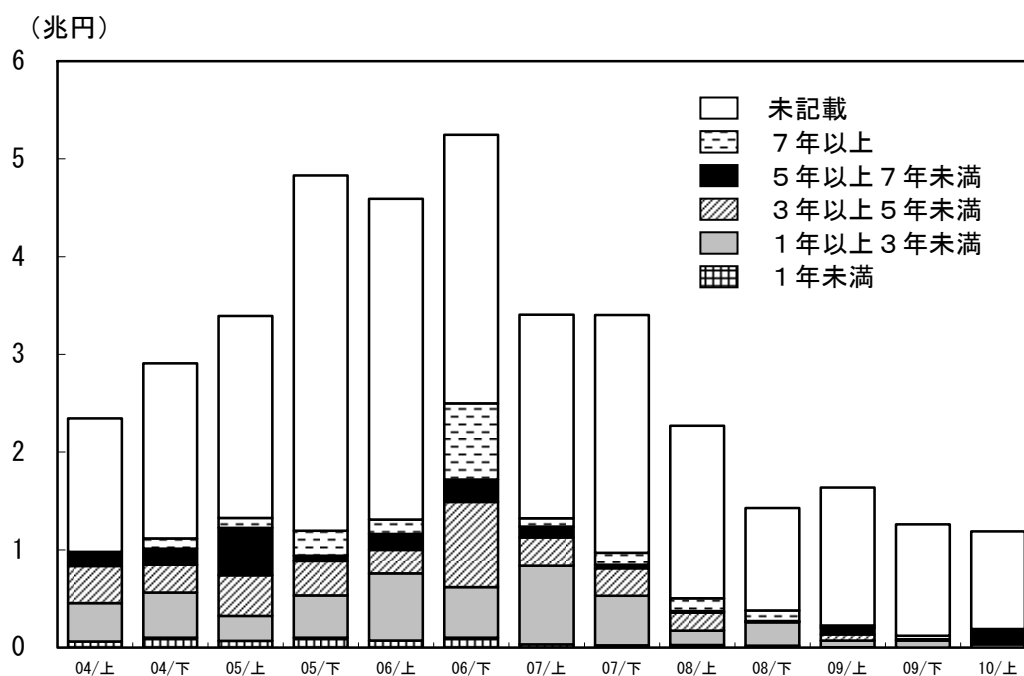
（図表 1 3）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 1,872 億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が 84%（9,981 億円）を占めたが、記載のある中では、「5 年以上 7 年未満」（1,243 億円）が最も多くなった（図表 14）。

（図表 14）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2010 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 1,872 億円）を「格付」別にみると、「A A A」が 86%（1 兆 245 億円）を占めた（図表 15）。

（図表 15）証券化商品の「格付」別発行金額

